

「GIGA スクール 自治体ピッチ」における応用パッケージとは

- 公立学校情報機器整備事業において補助対象外となる要素も含んだパッケージを「応用パッケージ」とする。
- 補助対象外となる範囲については、パッケージ全体が55千円に収まっていたとしても自治体の持ち出しとなる。

応用パッケージでの明示項目 (自治体における検討に資するため、明示すべき項目)	
提案者名	パッケージの提案者名、連絡先
特長	パッケージの特長
端末諸元	端末本体の製造メーカー名、型番
端末スペック	最低スペック基準に示すスペック項目に関する提案端末のスペック一覧※1
補助対象外となる要素	補助対象外となる要素を明示
価格	パッケージの想定価格※2,3

応用パッケージに関する留意点

- ✓ 原則として都道府県単位での共同調達が行われることを前提として提案すること。
- ✓ 応用パッケージに含まれる要素のうち、補助対象となる要素（端末本体等）については「基本パッケージに関する留意点」も踏まえたものとする。
- ✓ 補助対象外の要素として応用パッケージに含まれることが想定されるものとしては、例えば以下のようなものを想定している。
 - ✓ Webフィルタリングサービス、セキュリティサービス、デジタル教材、LTE通信費、端末の保守・運用サービス、その他付属品（端末持ち帰り用のバッグ、モバイルバッテリー、等）
- ✓ 補助対象外となる要素については、導入による効果（例えばデジタル教材に関する導入実績・活用例や、各種サービスによる教育委員会職員・教職員の負担軽減に関する効果など）を明らかにすること。
- ✓ 補助対象外となる要素のうち、各種アプリケーションの提案については、GIGAスクール構想が高速ネットワークを活用し、ブラウザを通してクラウドにアクセスすることを基本として、各種サービスの十全な活用を可能にすることによって、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させること等を目指すものであることを踏まえ、端末の起動時間が遅くなる、動作が不安定となる、処理が遅くなる、教科横断的に活用できる学習用ツール等の利用に支障を及ぼすといった端末運用上の支障・障害が生じるおそれがある提案は控えること。
- ✓ 補助対象外となる要素のうち、有償の保守等に係る提案については、GIGA第2期においては予備機15%の整備についても補助の対象となったこと、これを踏まえて各自治体において十分な台数の予備機の整備が見込まれることを踏まえたものとする。

(※1) 補助対象外となる要素を導入する上で、最低スペック基準を上回るスペックでなければ端末運用上の支障・障害が生じるおそれがある場合は、当該項目において、支障・障害が生じるおそれがないスペックを明記すること。

(※2) 変動要素がある場合は、当該要素を除いた部分の価格を明示した上、変動しうる要素に係る具体的な変動要因と想定される価格帯を一般的な想定例とともに可能な限り明示すること。

(※3) 地方公共団体における負担分を計算可能とするため、補助対象となる要素の価格と、補助対象外となる要素の価格の内訳を明示すること。